

書名	古寺巡礼【大活字版岩波文庫】			著者名	和辻 哲郎／著			
出版社	岩波書店	ISBN	978-4-00-761021-9		本体価格	¥3,100	発売	2025/11/20
内容	大正七年の五月、二十代の和辻は唐招提寺・薬師寺・法隆寺・中宮寺など奈良付近の寺々に遊んださい、飛鳥・奈良の古建築・古美術に相對し、その印象を若さと情熱をこめて書きとめた。鋭く繊細な直観、自由な想像力の飛翔、東西両文化にわたる該博な知識が一体となった、みごとな美の世界がここにはある。（解説 谷川徹三）							

書名	豊臣兄弟と家康			著者名	宮崎 正弘／著			
出版社	扶桑社	ISBN	978-4-594-10164-0		本体価格	¥1,600	発売	2025/11/27
内容	信長、秀吉、家康が覇を争った戦国時代。秀吉は弟・秀長からの支えが大きく、家康にも石川数正という有能な家臣がいた。影の人物とも評された秀長の役割とは何か。石川は家康から秀吉に寝返ったとされるのは本当か。現在、流布する秀吉と家康の人物評は間違っていないか。とくに秀吉は過大評価すぎないか。本書は信長以降、秀吉、家康へと天下人が移った時代の転換点を、秀吉と家康との攻防を軸に多角的に考察する歴史探訪。							